

**主な質疑**

**Q**：浅員計装室の修理の内容は何か。

**A**：取水流量計等の機器修繕で総額570万円。不足分の70万円は内部の一般財源を使用する。

**● 発議第31号**

道路特定財源の制度堅持に関する意見書

**■ 審査の結果**

「賛成多数で可決すべきものと決定」

湯沢町としても新三国トンネルの開削を始め多くの道路整備事業を必要としている。このためにも、次元立法で本年度末に期限を迎えるガソリン税等の暫定税率を維持し、道路整備を推進する必要がある。

**主な質疑**

**Q**：地方は車も都市部に比べて多く利用頻度も高い、暫定税率を廃止した方が格差の多い地方の人は喜ぶ。

**A**：我が町においては新三国トンネルの開削、国道

**視察報告**

353号の県境問題、国道17号線の赤坂、芝原トンネルなど老朽化にかかわる多くの問題を抱えている。日本全国の地方の整備が不十分である

**● 発議第12号**

米価の安定対策を求める請願

**■ 審査の結果**

「賛成多数で可決すべきものと決定」

米価の下落は農家の経営のみならず、地域経済にも重大な影響をもたらしている。政府はこれにより緊急対策を講じざるを得ない事態となった。国際的に食糧事情が悪化している中で、米の安全生産と食料自給率向上が急務である、短期的な緊急対策に留まることなく、抜本的な米価安定対策が必要である。大規模農家ほど赤字が大きくなっている。これ以上農業放棄をさせてはならない。

**主な質疑**

質疑なし。

産業建設常任委員会では、10月30日から11月1日まで、富士河口湖町（山梨県）及び下呂市（岐阜県）の管外視察をおこなった。

富士河口湖町は、富士山と河口湖にのみ頼る観光から、「五感に訴える町おこし」を観光政策の柱とし、天候に左右されない真の観光地を提唱・実践し、国土交通省の「観光カリスマ100選」にも選ばれている。

「五感に訴える↓五感文化構想」は鼻（ハーブ）・舌（ブルーベリー・サクランボ）・肌（温泉）・目（美術館等）・耳（ステラシアター）で感じることでできる観光地である。国の助成制度を常先取りするため、関東運輸局との職員相互出向及び内閣府にも職員を1名出向させている。

富士河口湖町は、観光を核として、農業等の産業をそれに組み入れ、観光基盤を整備・拡大している。首長の「ぶれない」町づくりの方針は、待ちの観光から

「観光補助・町づくり交付金」と国の情報を先取りした、攻めの観光施策の速さとの確性につながっている。

下呂市は飛騨・木曾川国定公園や県立自然公園にも位置し、湯沢町同様、急峻な山に囲まれた地域であり、5町村が合併し誕生した。このなかで清流馬瀬川を囲む、旧馬瀬村は人口1千500人の過疎化が進行した地域であり、村民が故郷の存続が危ぶまれる状況を憂えるなかで、「美しい馬瀬の清流と自然を保全することをもつて」、地域の人とその営みを守るための活動をおこなっている。

馬瀬川と自然景観を見せるための看板・トイレ整備、ガイドレールの色彩、川を見渡すに邪魔な木々の伐採、草刈の行き届いた川辺りと農地、馬瀬地方自然公園住民憲章推進協議会と旧村民の皆さんの故郷への想いが伝わってくる。



きれいに整備されていた下呂市内を流れる小河川

「故郷の潜在的な魅力を自ら探し、磨き育て観光資源とする」。貴重な植物・昆虫の発見、美しい村づくりのため、中山間地支払制度（自然生態系・国土保全）を活かし、草刈運動の提唱、道路脇等の美化は地区や自らの想いでおこなう。「素のままの自然はとて、も暖かく」誰しもが慈しむ、こころの故郷。

湯沢町の美しい自然はまだ静かに眠っている。